

平成29年度「障害者週間」行事

【関係機関・団体主催行事：12件】

| NO. | 所管省庁名 | 主催機関・団体名   | 行事の名称   | 内 容   | 実施期間         | 一般参加可能 | 問 合 先   |
|-----|-------|--|---|---|--------------|--------|---|
| 1   |       | 国立科学博物館<br>筑波実験植物園                                   | 手話で楽しむ植物園   | 身近な植物を観察しながら、園内や温室を散策し、手話で学べる講座   | 1月21日        | ○      | 筑波実験植物園<br>TEL:029-851-5159<br>FAX:029-853-8998   |
| 2   |       | 独立行政法人国立特別<br>支援教育総合研究所                              | 研究所公開   | 「つかめ情報！がつり体験！つながる特総研！」をテーマに、車いすバスケの体験、特別支援学校生徒によるあん摩マッサージ体験、発達障害の特性に関する疑似体験、障害のある児童生徒に対する教育上、生活上の配慮の紹介等を行う。(会場：国立特別支援教育総合研究所)   | 11月11日       | ○      | 独立行政法人国立特別支援教育<br>総合研究所<br>総務部総務企画課総務・広報係<br>電話：046-839-6803<br>FAX：046-839-6918            |
| 3   |       | 全国特別支援教育推進<br>連盟<br>文部科学省<br>独立行政法人国立特別<br>支援教育総合研究所 | 第40回全国特別支援教育振興協<br>議会   | 平成28年4月1日に障害者差別解消法が施行され、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しており、不当な差別的取扱いを禁止し、合理的配慮の提供が求められている。今年度の振興協議会では、共生社会の実現に向けてのPTAの取組や合理的配慮について学校等での実践事例発表を通して、現状と課題を参加者と一緒に考えていく。(会場：国立オリンピック記念青少年総合センター)<br>・主題「学校教育におけるインクルーシブ教育システムの充実に向けて」<br>1部 共生社会の実現に向けたPTAの役割について<br>2部 学校教育における合理的配慮について 実践事例報告、シンポジウム | 12月8日        |        | 独立行政法人国立特別支援教育<br>総合研究所総務部総務企画課企<br>画評価グループ企画評価係<br>電話：046-839-6806<br>FAX：046-839-6919     |
| 4   |       | 独立行政法人国立特別<br>支援教育総合研究所                              | 第3回NISE特別支援教育国際シンポ<br>ジウム   | テーマを「インクルーシブ教育システムの推進－日英の取組から、今後を展望する－」とし、本研究のインクルーシブ教育システムの評価指標に係る研究及びイギリスの専門家招聘による情報提供を基に、インクルーシブ教育システムの進展のために、①学校現場が果たすべき役割、②指導者が持つべき視点・考え方について議論する。(会場：一橋大学一橋講堂)<br>第1部 イギリスにおける実地調査の報告<br>第2部 シンポジウム、基調講演、調査報告、指定討論  | 1月20日        | ○      | 独立行政法人国立特別支援教育<br>総合研究所<br>総務部総務企画課企画評価グ<br>ループ企画評価係<br>電話：046-839-6806<br>FAX：046-839-6919 |
| 5   | 文部科学省 | 独立行政法人国立特別<br>支援教育総合研究所<br>筑波大学附属久里浜特<br>別支援学校       | 世界自閉症啓発デー2017in横須賀  | 『知ろう、つながろう～自閉症のある子どもが学びやすい学校や社会をめざして～』をテーマに、横須賀市において「世界自閉症啓発デー」のイベントを実施し、特に今年度は、学校等の教職員を対象にして自閉症等の理解啓発を行うことを目的とする。なお、本イベントは、障害者週間キャンペーンYOKOSUKAの一環として行う。(会場：横須賀市生涯学習センターまなびかん)  | 1月24日        | ○      | 独立行政法人国立特別支援教育<br>総合研究所<br>発達障害教育推進センター<br>電話(代表)：046-839-6803<br>FAX 046-839-6938          |
| 6   |       | 独立行政法人国立特別<br>支援教育総合研究所                              | 国立特別支援教育総合研究所セミ<br>ナー   | 「インクルーシブ教育システムの推進」をメインテーマに、有識者による基調講演、シンポジウムや、本研究の研究成果報告、ポスター発表、教材・支援機器等の展示などを通じて、特別支援教育関係者をはじめ、幼・小・中・高等学校の教職員や広く一般国民への理解啓発を行う。(会場：国立オリンピック記念青少年総合センター)   | 2月16～17日     | ○      | 独立行政法人国立特別支援教育<br>総合研究所<br>総務部総務企画課企画評価グ<br>ループ企画評価係<br>電話：046-839-6897<br>FAX：046-839-6919 |
| 7   |       | 公益財団法人日本障が<br>い者スポーツ協会                               | 障がい者スポーツの講演会  | 自治体や関係団体等に対して、障がい者スポーツの紹介、最新情報などの内容の講演会を行う。障がい者スポーツを通して、障がいの理解が進むように、誰もが分かりやすい内容で行っている。(藤沢市、武蔵野大、埼玉県経営者協会、共立女子大他)   | 11月23日～12月6日 |        | 日本障がい者スポーツ協会<br>総務部<br>Tel 03-5939-7021<br>Fax 03-5641-1213                                 |
| 8   |       | 公益財団法人日本障が<br>い者スポーツ協会                               | 障がい者スポーツ学会合同コングレ<br>ス   | 現在、障がい者スポーツに関わる学会がいくつも存在しており、それぞれの学会毎に調査研究、論文発表を行っている。今回、その複数の学会関係者を一同にあつめ、各学会の連携を深め、より、障がい者スポーツの研究が進むように合同コンGRESを行う。   | 12月16日～17日   | ○      | 日本障がい者スポーツ協会<br>総務部<br>Tel 03-5939-7021<br>Fax 03-5641-1213                                 |
| 9   |       | 独立行政法人<br>国立美術館<br>京都国立近代美術館                         | ミュージアム・アクセス・ビューとの連<br>携による「岡本神草の時代」展 鑑賞<br>ツアー                              | 目の見えない人／見えにくい人と「ことば」を使った鑑賞ツアーを行っているグループであるミュージアム・アクセス・ビューと京都国立近代美術館との連携企画。作品からのメッセージをさぐり、鑑賞を深め、またお互いの「見え方」「感じ方」の違いを発見し共有していく。一人で静かに鑑賞するのは違って、様々な職業や、年齢、障害の有無、経験の違う人たちと、おしゃべりをしながら作品を見る新しい鑑賞の試みである。  | 12月3日        | ○      | 京都国立近代美術館<br>TEL:075-761-4111(代表)<br>FAX:075-771-5792                                       |
| 10  |       | 独立行政法人<br>国立美術館<br>京都国立近代美術館                         | 「感覚をひらく—新たな美術鑑賞プロ<br>グラム創造推進事業」第2回フォー<br>ラム<br>「伝える・感じる・考える—制作者<br>と鑑賞者の対話」 | 京都国立近代美術館では、地域の盲学校や大学、行政と連携して、「みる」ことを中心としてきた美術館での体験を問い直し、障害の有無を超えて、誰もが美術館を訪れ、体験できるようなプログラムを創造、構築する取組を行っている。このフォーラムでは、「無視覚流アート鑑賞法」を実践する広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館准教授)と鑑賞者が、2名の作家の作品を様々な方法で体験する。   | 12月16日(予定)   | ○      | 京都国立近代美術館<br>TEL:075-761-4111(代表)<br>FAX:075-771-5792                                       |
| 11  | 厚生労働省 | きょうされん   | 障害のある人のいのちとことばを伝<br>える<br>第9回つながり映画祭  | 人間のありのままの姿を葛藤しながらも受けとめあう姿を描き出す作品を上映。また、「共生社会」「精神障害」をテーマにしたトークショーも開催。  | 12月9日～15日    | ○      | きょうされん 事務局<br>03-5385-2223  |
| 12  | 経済産業省 | 経団連1%クラブ/(一<br>社)日本ユニバーサルマ<br>ナー協会/(株)ミライロ           | 「ユニバーサルマナー」推進プロジェ<br>クト～ユニバーサルマナーを文化<br>に！～                                 | 企業人が障害者や高齢者への理解を深め適切に対応する「ユニバーサルマナー」を学び、実践する。   | 11月3日        |        | 経団連1%クラブ事務局<br>TEL:03-6741-0154<br>FAX:03-6741-0351   |